

ゲストスピーカーによる講演（多文化共生社会 I 2017 年担当授業）

## 日本に住む外国人の子どもたちの人生の現状と課題 ～群馬県における NPO の支援活動を通して～

日時：2017 年 6 月 7 日（水曜日）4 限（14:20～15:50）

場所：3101 教室

多文化共生社会 I、海外フィールドワーク（台湾、フィリピン、ハワイ）の受講者は義務参加です。少し席の余裕がありますので、そのほかの聴講希望者は直接会場に来てください。

### <講師紹介>

**本堂晴生さん（NPO 法人「いせさき NPO 協議会 社会貢献ネット」代表理事）**

「会社員時代に海外駐在で日本を外から見る経験をしました。アメリカや中国、欧州、アジアの様々な国の人と付き合うことで「多様性」のすばらしさを実感。リタイア後は地域のつながり作りにひとつひとつチャレンジしています。

人と人がつながり、地域で何かをいっしょに創る⇒国籍を問わず人々がやりがい・生きがいを作る地域づくりを目指しています。

特に、多様性そのものである外国人の子どもの教育支援には力を入れています。」（講師より）

### <主な活動地域>

伊勢崎市、太田市、大泉町、前橋市、高崎市、館林市、中之条町

### <略歴>

1971 年 慶應義塾大学大学院修士課程修了（電気工学）

1971 年 ㈱日立製作所半導体事業部（アメリカ駐在 4 年間）

2001 年 ㈱日立超 LSI システムズ

2006 年 ㈱チャイナウェイ（中国のマーケティングベンチャー）

2009 年～現在 NPO 活動

○本講演は、「地(知)の拠点整備事業（COC）」地域志向教育研究経費を受けて、国際コース共同で実施している「群馬県伊勢崎市における『多文化共生社会』の現実に学ぶ～本学と地域 NPO との連携を通して～」(代表：西館)」プロジェクトの一環で行われています。

## <本堂さんから学生の皆さんへの質問>

授業時間に一緒に議論したいと思いますので、事前に少し考えてみてください。

1. 「多様性」は、一人一人が違う考え方や生き方を持っていることですが、一人一人が違うとなぜ良いのでしょうか？
2. 人間の肌の色は、黒い人、黄色い人、白い人などいろいろありますが、なぜ肌の色が違うのでしょうか？
3. 5才くらいまでの子どもたちは、肌の色や言語などの違いがあっても気にせずに遊びます。その子どもたちが年齢を重ねていくと、いつの間にか違うということの中に差別感情を持つようになります。なぜだと思いますか？
4. 外国人を支援していたら、ある日本人から「日本人にも困っている人が多くいるのだから、外国人よりも日本人を先に支援するべきでしょう？」と言われました。あなたならそれにどう答えますか？
5. あなたの家の隣に外国人が引っ越してきました。休日に庭でバーベキューをするのでおいが自分の家に流れ込んでくるし、夜遅くまで庭で話をしている眠りの妨げにもなります。あなたならどうしますか？
6. 日本に来たばかりの外国人の小学生の子に、日本語や学校の勉強を教えるボランティアをします。その子はまだ日本語が話せません。あなたならどのように教えますか？